

永井 勝彦：(Katsuhiko NAGAI)

学位：学士（芸術学）

略歴：愛知県立芸術大学 美術学部油絵科卒業

専門分野：協同的で探究の学び

研究課題：1. 学び合う学びの授業づくりと学校づくりに必要な要件
2. 生徒指導・教育相談における教師の役割と関係機関との連携

【著書】

- ・「教師力×学校力」ダイナミック変革への実践本 2008 年 3 月明治図書 68～71 99～101 （7）
- ・教師のコミュニケーション力を高めるコーチング 2008 年 11 月明治図書 56～60 （5）
- ・「コーチングで学級経営！ワークシート実践例 3 3」 2011 年 7 月明治図書 19～35 125～126(19)

【論文】

- ・「対象・他者・自己との対話」の学習論に基づく授業デザインの実践的考察
— 想像力と創造性の育成に向けた図画工作科の授業実践 — 愛知文教大学学び合う学び研究所研究紀要 創刊号
2022 年 1 月 31 日
- ・生徒指導上の問題に対するチームによる支援
— K 市における外部機関との連携による取り組み — 愛知文教大学学び合う学び研究所研究紀要 第 2 号 2024 年 3 月 10 日

【学会発表】

- ・大塚学校経営研究会（筑波大学学校経営学研究室）において、シンポジウム「学校をいかにして『学習する組織』にするか」においてシンポジストとして「生徒指導・不登校が減少する学校づくり」について発表（熱海）2008 年 3 月）
- ・授業ビデオ研修「大津市立真野北小学校 6 年算数「体積」の授業」についてコメンテーターを務める（第 17 回学びの共同体研究大会（伊東市）の全体会(350 名参加) 2018 年 8 月）
- ・学校づくり分科会において和歌山市立東和中学校・奈良市立登美ヶ丘中学校の実践に対してコメンテーターをつとめる。（第 19 回学びの共同体研究大会（伊東市）2021 年 1 月）

【公開講座・出張授業・その他】

- ・大津市立真野北小学校「公開授業研究会」講演 6 回（6・10・12・1・2 月）（2006 年 8 月）
- ・大津市立真野北小学校「公開授業研究会」講演 6 回（6・10・11・1・2 月）10 月学習院大学佐藤学教授と講演（2007 年 6 月）
- ・小牧市立北里小学校「公開授業研究会」講演 3 回（6・3 月）（2007 年 8 月）
- ・大津市学びの会・夏季研修会の講師「中学英語・小学校算数の授業及び学校づくり実践」について講演（2007 年 5 月）
- ・小牧市いじめ問題対策連絡協議会委員（2015 年 4 月～2020 年 3 月）
- ・小牧市児童館運営協議会 委員長（2015 年 7 月～2020 年 3 月）
- ・小牧市教育振興基本計画検討会議委員（2015 年 10 月～2016 年 3 月）
- ・小牧市通学区域審議会 委員長（2015 年 4 月～2026 年 3 月）
- ・小牧市立岩崎中学校「校内授業研究会」講演 6 回（6・7・8・10・11 月）愛知県教育委員会愛日地区事務協議会研究委嘱「学

習指導」の助言を担当（2015年6月）

- ・小牧市立小牧中学校「公開授業研究会」講演5回（7・10・11・1月）（2016年8月）
- ・小牧市保護司会研修会で「今、見える感じる子どもたちの姿」と題し、生徒指導・教育相談の講演（2016年10月）
- ・小牧少年補導員会研修会で「小牧市の現状、子どもたちの姿から大切にしたいこと」と題し、生徒指導・教育相談の講演（2018年3月）
- ・小牧市児童クラブ支援員研修会で「対話を通して関係性を考える」をテーマに生徒指導・教育相談のワークショップと講演を行う。（2018年8月）
- ・小牧市こども未来館開設準備委員会で「レッジョエミリア・アプローチ」として、イタリア幼児アート教育の提案講演をする（2019年9月）
- ・小牧市立光ヶ丘小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2019年8月）
- ・小牧市立小木小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2019年8月）
- ・大津市立真野北小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2019年8月）
- ・小牧市立光ヶ丘小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2019年8月）
- ・小牧市現職教育講座においてコーチングによるチームビルド研修で講演（2019年8月）
- ・清須市立新川中学校においてコーチングによるチームビルド研修で講演（2019年8月）
- ・浜松市立中郡中学校においてコーチングによるチームビルド研修で講演（2019年8月）
- ・小牧市立小牧南小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2020年8月）
- ・小牧市立光ヶ丘小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2020年8月）
- ・小牧市立小牧南小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2021年8月）
- ・小牧市立小牧原小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2021年8月）
- ・小牧市立北里小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2021年8月）
- ・小牧市立小牧南小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2022年8月）
- ・小牧市立小木小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2024年8月）
- ・小牧市立小牧南小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2024年8月）
- ・小牧市立小木小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2025年7月）
- ・小牧市立三ツ渚小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2025年8月）
- ・小牧市立小牧南小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2025年8月）
- ・小牧市立本庄小学校「図工実技研修会」で実技指導・講演（2025年8月）
- ・愛知地区教育委員会連絡協議会において『「学び合う学び」の考え方による授業改善と学校づくり』の講師を務める（豊明市役所）（2020年8月）
- ・「学び合う学び研究所」第1回セミナー「対談でひもとく、なぜ学び合う学びが生まれたのか？」において、生徒指導困難校が立ち直るプロセスを愛知文教大学特任教授副島孝との対談をする（2020年10月）
- ・小牧市立岩崎中学校「校内授業研究会」講演6回（4・5・7・8・10・11月）愛知県教育委員会愛日地区事務協議会研究委嘱「学習指導」の助言を担当（2020年11月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演（3月）（2021年3月）
- ・小牧市立小牧西中学校「校内授業研究会」講演3回（4・6・1月）（2021年3月）
- ・小牧市立北里小学校「校内授業研究会」講演5回（5・6・9・11・2月）（2021年5月）
- ・小牧市立小牧中学校「校内授業研究会」講演年間4回（5・7・10・12月）（2021年5月）
- ・小牧市立小木小学校「校内授業研究会」講演3回（5・9・1月）（2021年5月）

- ・豊明市立栄中学校「校内授業研究会」講演3回（6・10・2月）（2021年6月）
- ・豊明市立栄小学校「校内授業研究会」講演3回（6・9・2月）（2021年6月）
- ・小牧市立岩崎中学校「校内授業研究会」講演5回（6・7・9・10・3月）（2021年6月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演3回（6・10・1月）（2022年6月）
- ・豊山町立豊山小学校「校内授業研究会」講演（1月）（2022年1月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演11回（4・5・6・9・9・10・11・11・12・1・1月）（2023年4月）
- ・豊明市立栄小学校「校内授業研究会」講演3回（4・9・2月）（2023年4月）
- ・小牧市立小牧西中学校「校内授業研究会」講演3回（4・6・1月）（2023年4月）
- ・小牧市立北里中学校「校内授業研究会」講演4回（5・7・9・3月）（2023年5月）
- ・小牧市立小木小学校「校内授業研究会」講演3回（6・9・1月）（2023年6月）
- ・豊山町立豊山小学校「校内授業研究会」講演（6・1月）（2023年6月）
- ・豊明市立栄中学校「校内授業研究会」講演3回（6・10・2月）（2023年6月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演3回（4・6・9月）（2024年4月）
- ・豊明市立栄小学校「校内授業研究会」講演3回（5・9・2月）（2024年5月）
- ・小牧市立北里中学校「校内授業研究会」講演5回（5・7・9・11・3月）（2024年5月）
- ・小牧市立小牧西中学校「校内授業研究会」講演3回（5・6・10月）（2024年5月）
- ・小牧市立小木小学校「校内授業研究会」講演3回（6・9・1月）（2024年6月）
- ・豊山町立豊山小学校「校内授業研究会」講演（6・1月）（2024年6月）
- ・豊明市立栄中学校「校内授業研究会」講演2回（7・2月）（2024年7月）
- ・小牧市立小牧西中学校「校内授業研究会」講演3回（4・6・10月）（2025年4月）
- ・小牧市立北里中学校「校内授業研究会」講演4回（5・9・12・3月）（2025年5月）
- ・小牧市立小木小学校「校内授業研究会」講演3回（6・11・2月）（2025年6月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演4回（6・7・9・11月）（2025年6月）
- ・豊明市立豊明小学校「校内授業研究会」講演3回（6・9・1月）（2025年6月）
- ・小牧市立北里小学校「校内授業研究会」講演2回（11・2月）（2025年11月）
- ・小牧市立北里中学校「校内授業研究会」講演（2026年5月）
- ・小牧市立小牧西中学校「校内授業研究会」講演（2026年6月）
- ・春日井市立知多中学校「校内授業研究会」講演（2026年6月）
- ・豊明市立豊明小学校「校内授業研究会」講演（2026年6月）

令和 8（2026）年度ティーチングポートフォリオ

氏 名	永井 勝彦	職位／役職	特任教授／学び合う学び研究所事務長
-----	-------	-------	-------------------

1. 教育の理念

教職課程の担当として、劇的に変化する社会に対応するため、生涯学び続けられる教員の育成を目指している。情報化する社会構造にあつて、自分たちが受けてきた教育とは全く異なる変革が日々進んでいる。現在の教室では、生徒一人ひとりがもつタブレット端末からは、知識や技術は簡単に検索し獲得することができる。この時代に、学校に集まり学ぶ意味を考え、何を思考し、判断するのか。

教育現場が抱える複雑化した課題を解決するために、粘り強く考え改善策を導き出すことができる人材育成が求められている。あふれる情報の中から、正しい情報を見極める力と、課題解決に向けて情報の再構築する力を身につけ思考させたい。そのためにも、具体的な教育場面を想定し、その対応について考え学ぶことができる環境を整備し、学生自らが学び続けられる人となれるよう配慮する。

2. 教育活動の内容

2022 年度

教育研究 A

アカデミアゼミ A・B

学び合う学び研究所 セミナー講師（2022 年 4 月 20 日）

2023 年度

教育研究 A

アカデミアゼミ C・D

学び合う学び研究所 セミナー講師（2023 年 8 月 5 日・19 日）

2024 年度

教育研究 A

学び合う学び研究所 セミナー講師（2024 年 4 月 20 日）

2025 年度

教育研究 A

2026 年度

教育研究 A

教育実習

教育実習事前事後指導

生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）

アカデミアゼミ C・D

学び合う学び研究所 セミナー講師（2026 年 8 月）

3. 教育の方法

教育現場が抱える課題解決のために、粘り強く考え改善策を導き出すことができる人材育成をめざす。教育の方法としては、具体的な教育場面を想定し、教員としてどう対応するのかを考えさせる。授業づくりは模擬授業、生徒指導は文部科学省の調査結果などの分析から対処を考察、学校体験は具体的な場

面指導を設定して体験活動を重視する。

教育研究 A では、指導案作成から始め 20 分の模擬授業を取り入れている。一人の学生が教師役となり授業を行い、それ以外の学生が生徒役になり、授業を行なう。そのことにより授業を受ける生徒の気持ちを通して、学びのある授業とは何かを考えることができる。

(1) 3 年 教育研究 A

3 年生の教育研究 A では、一人ずつ、20 分程度の模擬授業を行なっている。授業を行う上で大切であると言われる導入から中盤にかけて学生が指導を行う。毎年、学生同士がお互いの授業を生徒役として体験することができ、授業後のリフレクションでは、学びの交流を行っている。更に、現場教師が実施した教科や道徳の授業ビデオを視聴し、そこから学んだ指導技術や生徒への支援の在り方について、学生間による意見交流をし、教育実習に向けた実践的な学びにしている。教職を目指す上では、貴重な学びである。

2023 年度からは、学校現場で教員が直面する課題について、学生一人ひとりが自分自身の解決策を考察し、小論文にまとめることを課題としている。学生の選択した現場の課題は教員の指導力向上、不登校問題、いじめ問題、ICT 教育導入に向けた取り組み、自殺者増加への対応、などになった。書かれた小論文は、メンバー間で共有し、意見交流を行うことで、教員採用試験対策の一助にしている。また、生徒指導・教育相談について、現場で起きている具体的な事例の対応を検討し、議論を深めている。

(2) 4 年 教育実習

教育実習では、限られた貴重な時間。授業計画をたて、担当教諭から十分指導をうけなければならない。指導教諭から講評を得るだけでなく、参観にみえた他の教員や実習生にも意見交流を求める。多くの欠点や改善すべき点があるのは当然で、そのための実習であることを心がけること。

教材研究（自分ひとりでできること）は基本的に帰宅後に行う。道徳の指導案は、発問の作成が難しいが、単元構造や、主題設定に力を入れて指導する。研究授業では、全教員に指導案が配布され、都合のつく教員が多数参観にくる。大学からゼミ担当の教師が訪問指導を行い、実習校との連絡調整を行う。

(3) 4 年 教育実習事前事後指導

事前指導の確認事項は以下の点である。

- ・実習時の服装・身だしなみ
- ・指導案フォーマット・指導単元・教科書などの確認（中学校は道徳も）
- ・担当クラスの確認・実習中の通学方法や開始時間などの確認
- ・実習日誌の運用の仕方（データか冊子か）USB と冊子両方を持参する
- ・事前訪問日で打ち合わせた内容の報告

「教育実習で何をどう学ぶのか」学生同士が意見交換をし、学ぼうとする意欲づくりを実施する。できなくても構わないので挑戦しようとする気持ちを醸成する。

また、教員採用試験が早まったことにより、実習前に、採用試験の出願があり、実習後ただちに採用一次試験がはじまる。特に、小論文について、最終確認を行っている。

事後指導の確認事項は以下の点である。振り返りプレゼンテーション（事後報告）の作成

- ・教育実習で最も印象に残ったこと ・先生方の実践例で印象に残ったこと
- ・子どもたちとのかかわりで印象に残ったこと
- ・発達障害のある子に対する支援についておもったこと ・活動中、最も苦労したこと
- ・教材研究、学習指導案づくりで苦労したこと ・授業で失敗したこと、それを今後どう克服するか

- ・先生方の生徒指導の取組について思ったこと
- ・今後、自分はどんな先生になりたいか（もしくは就職活動にどう活かされるか）

(4) 2年 生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）

生徒指導論では、生徒指導の考え方と指導の在り方をテーマとする。令和の日本型学校教育に示されている通り、教育課程における生徒指導の意義や原理を理解し、学級・学年・学校における生徒指導の考え方と指導の進め方を理解する。授業内容としては、「授業の中でいかに生徒指導をするのか」を具体的な指導場面を通して考察させる。

また、生徒が自立できるよう他の教職員や関係機関との連携に必要な知識・技能や素養を身につけるため、事例をもとにした対応方法を検討し、議論できるような学び方を取り入れる。

本授業は、発達段階に即した生徒の生活意識と現状を理解し、前提となる指導観の学習をする。個別の課題を抱える個々の生徒への指導、様々な問題行動への対応について当事者と他者の視点から組織的に生徒指導上の在り方を理解する。カウンセリングや生徒相談について、具体的な場면을想定した課題に挑戦させる。

現在、世界的に論議されている青少年の SNS 利用の禁止やネット依存への対応について「制限重視」か「教育重視」か国の対応が分かれており、教師としての対応について議論させる。

(5) 学び合う学び研究所セミナー企画運営

2020 年 10 月 3 日第 1 回セミナーより、6 年間にわたり、毎月（土曜）にセミナーを企画し開催した。愛知県内外より、参加者を得て、具体的な授業事例を取り上げた学び合いや、研究事例について学び合うことができた。また、論文講座や教育技術講座などを開催し、毎回 20～30 名程度の参加者があり、それぞれのセミナー参加者が意見交流をし学び合った内容をホームページに公開している。

2026 年は 4 月 25 日(土)当研究所シニアフェローの名古屋大学名誉教授 的場 正美先生をお迎えして「子どもが進める授業を支える教師の考え」 — 新城市立新城小学校 4 年社会科「私たちのくらしと道」を通して — をテーマに行い、参加者は的場先生を含め 37 名

5 月 16 日(土)は、コメンテーターとして当研究所シニアフェローの副島 孝先生をお迎えし、小牧市立北里中学校の佐々木 大揮先生の中 3 国語『握手』の授業を通して「年度当初から、なぜ、これほど『深い授業』が実現するのか？」をテーマに行い、参加者は講師を含め 35 名。

4. 教育活動の成果・評価と改善方策

授業評価では、「模擬授業を行うことにより、指導案立案の視点の違いに学ぶことができた」「現在の教育課題の分析考察について、学生同士が学び合えた」「実践的な教育技術を理解できた」「課題について学生がグループでさまざまな課題について話し合うことにより、一人一人異なる考えを持っていることが分かり、自分の考えを深めることができた」など、授業課題について考えることができたという感想が多かった。

5. 今後の目標

講義形式に対しては、あまり良い評価がなく、発表や、グループでのディスカッション、ワークショップの形式の活動が高評価であった。学生が主体的に活動する学習を、より発展させていく。

課題としては、学習指導要領や生徒指導提要などの知識注入学習となりがちな学習において、学生が主体的に学習に取り組むことができるような指導としたい。